



# 米国株 MARKET PICK UP



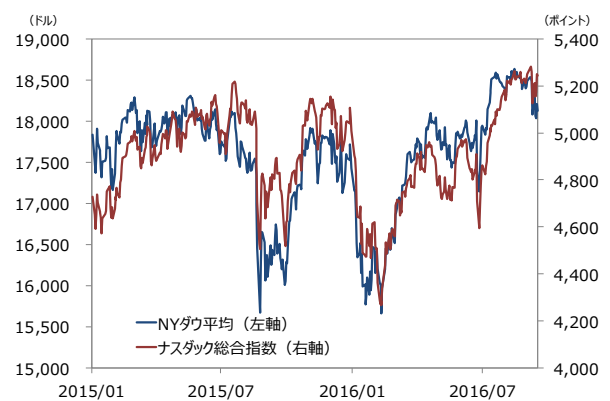
先週の米国株式市場—ダウ平均は小幅上昇 ナスダックはアップル牽引し大幅高—

	前週終値	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	週間騰落幅	週間騰落率
ダウ平均	18,085.45	18,325.07	18,066.75	18,034.77	18,212.48	18,123.80	+38.35	+0.21%
騰落幅		+239.62	-258.32	-31.98	+177.71	-88.68		
S&P500	2,127.81	2,159.04	2,127.02	2,125.77	2,147.26	2,139.16	+11.35	+0.53%
騰落幅		+31.23	-32.02	-1.25	+21.49	-8.10		
ナスダック総合指数	5,125.91	5,211.89	5,155.26	5,173.77	5,249.69	5,244.57	+118.66	+2.31%
騰落幅		+85.98	-56.63	+18.52	+75.92	-5.12		

### ＜先週の概況＞

先週の米国市場でダウ平均は週間で38ドル高と小幅に上昇しました。週初から早期利上げに否定的なFRB高官の発言を受け大幅高となったダウ平均ですが、原油価格の下落などから翌日は大幅安となりました。その後経済指標の下振れなどを受けて9月の利上げ観測が後退して15日には177ドルの大幅高となりました。ハイテク株比率の高いナスダック総合指数は時価総額の大きいアップル(AAPL)が大幅に上昇したことで2%を超える上昇となりました。

NYダウ平均とナスダック総合指数の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## 米国株式市場バリュエーション

指数	予想PER (倍)	PBR (倍)	予想配当利回り
ダウ平均	17.1	3.1	2.6%
S&P500	18.2	2.8	2.2%
ナスダック総合指数	22.4	3.6	1.2%

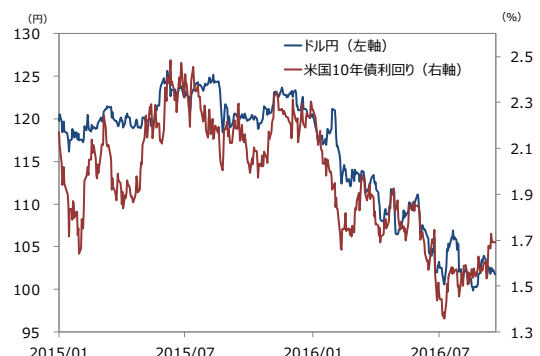
(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成 (2016年9月16日時点)

S&P500と騰落レシオの推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

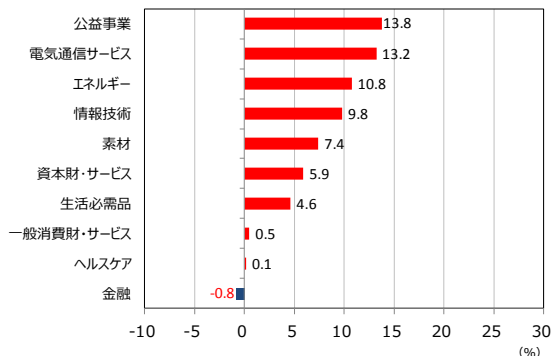
ドル円と米国長期金利の推移



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

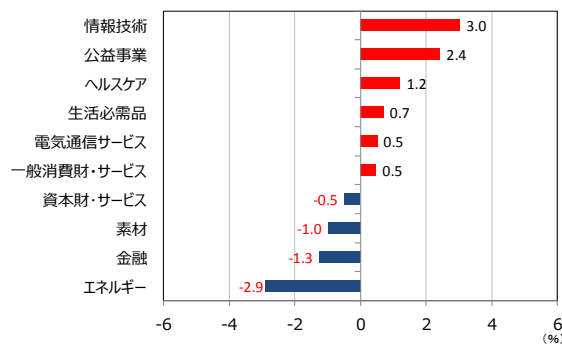
## 業種別リターン

S&P500 業種別年初来リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

S&P500 業種別週間リターン



(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

## ダウ平均採用銘柄 週間騰落率ランキング

値上がり率ランキング (9/12-9/16)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
AAPL	アップル	11.4
INTC	インテル	6.3
WMT	ウォルマート・ストアーズ	3.7
UNH	1ナイテッド・ヘルス・グループ	3.6
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	2.1
MSFT	マイクロソフト	1.9
CAT	キャタピラー	1.6
V	ビザ	0.9
MCD	マクドナルド	0.6
TRV	トラベラーズ・カンパニー	0.2

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

値下がり率ランキング (9/12-9/16)

ティッカー	銘柄名	週間騰落率 (%)
CVX	シェvron	-3.4
XOM	エクソン・モービル	-3.2
UTX	1ナイテッド・テクノロジーズ	-2.5
AXP	アメリカン・エキスプレス	-2.2
DD	イー・アイ・デッドマン・グループ	-1.7
GS	ゴールドマン・サックス・グループ	-1.5
GE	ゼネラル・エレクトリック	-1.4
BA	ボーイング	-1.4
HD	ホーム・デポ	-1.3
JPM	JPMorgan・チェース・アンド・カンパニー	-1.2

(出所) Bloombergのデータをもとにマネックス証券作成

### <上昇>

新型 iPhone の予約が好調に推移しているとの報道を好感してアップル (AAPL) が週間で 11% 超の大幅高となりました。また、7-9 月期の売上高見通しを引き上げたインテル (INTC) も 6% 超上昇しています。

### <下落>

原油価格の下落を受けシェvron (CVX) とエクソン・モービル (XOM) の 2 社が 3% を超える下落となりました。また、経営幹部が航空機エンジンの出荷が見通しを下回ると示唆したと伝わったユニテッド・テクノロジーズ (UTX) も 2.5% 安となっています。

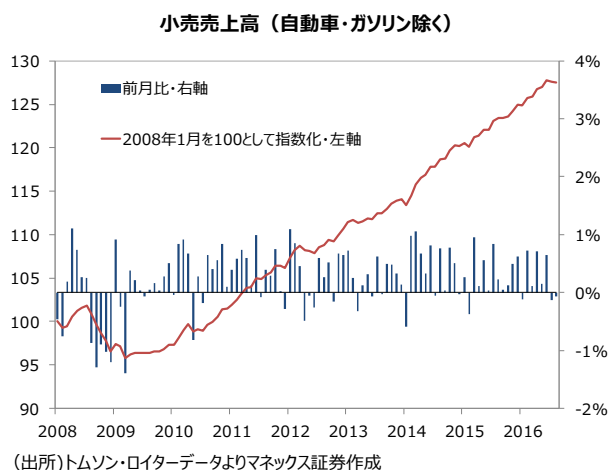
## 先週発表された主な経済指標

小売売上高（前月比） 8月 -0.3% 市場予想 -0.1% 前月 +0.1%

自動車・ガソリン除く（前月比） 8月 -0.1% 市場予想 +0.3% 前月 -0.1%

15日に発表された8月の小売売上高は、ヘッドラインが前月比0.3%の減少と市場予想を下回る低調な内容でした。変動の大きい自動車・ガソリンを除いた売上高も0.1%の減少と増加を予想していた市場予想に反して前月から減少しました。

自動車とガソリンを除いた売上高が2ヶ月連続で前月から減少したのは2012年以降のことであり、個人消費低迷がやや懸念されます。



## 今後発表される主な経済指標

### 連邦公開市場委員会（FOMC）

20日から21日にかけて連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。利上げが実施されるかどうか最大の焦点ですが、今回の会合では利上げは見送られるとの見方が有力です。

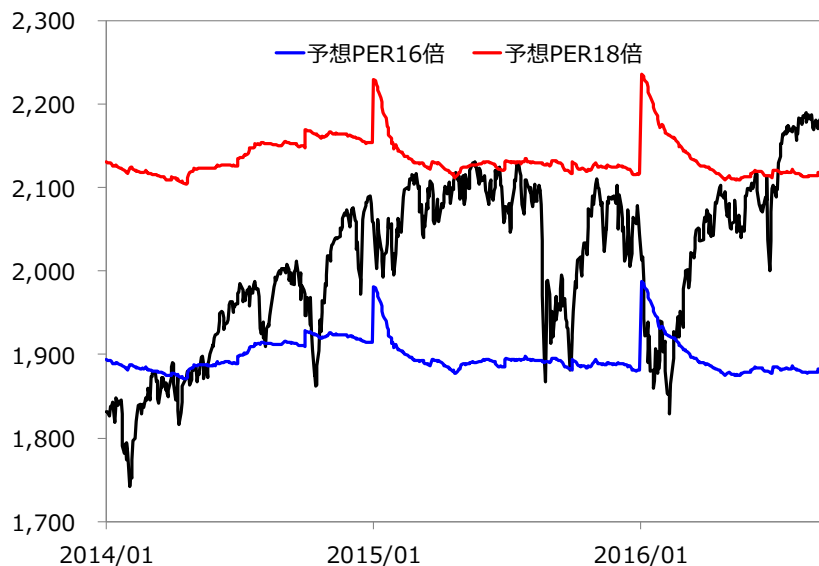
8月下旬にジャクソンホールで開催された講演でイエレンFRB議長は「この数ヶ月で追加利上げの論拠が強まった」という趣旨の発言をし、早期利上げに意欲を示しました。さらにフィッシャーFRB副議長は9月の利上げ実施および年内複数回の利上げの可能性はあるかとの問いに対し、「イエレン議長の発言はその可能性があることを示唆している」とタカ派的な発言を行いました。こうした発言を受け一時は9月の利上げ観測が高まりましたが、その後発表された雇用統計やISM景況感指数、小売売上高などの重要指標が軒並み市場予想を下回る軟調なものに終わったことに加え、ブレイナードFRB理事が「利上げは慎重に進めるべきだ」と発言するなど、FRB内に9月の利上げ実施に向けコンセンサスができていないことが明らかとなりました。これらからすると今月の会合では利上げは見送られると考えられます。

マーケットビューー利上げ見送りでも割安感はあまりない水準ー

先週のマーケットビューーでは小売売上高などの経済指標や、ブレイナードFRB理事の発言などに注目と記しました。小売売上高は市場予想を大幅に下回る低調な内容で、ブレイナード理事は利上げ先送りを示唆する発言を行ったことで9月の利上げ観測は大幅に後退しました。

今週はFOMCが最大の注目材料です。利上げは先送りされる可能性が高いとみられますが、サブライズで実施となった場合のショック安には注意が必要です。また、利上げ見送りとなった場合でもS&P500の予想PERは18倍台とあまり割安感はないことから買い上がるような局面ではないと考えています。

S&P500と予想PERの推移



(出所) Bloombergデータよりマネックス証券作成

フィナンシャル・インテリジェンス部 益嶋 裕

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会